

会員数	38,311	(前月比) +177
郵送	3,881	(前月比) - 69
手配り	29,226	(前月比) +246
協同基金到達額	2,472,858,000円(11/30現在) [前月比 10,221,000減]	
協同基金出資者数	20,259名(11/30現在)	
いのちを守る助け合い募金額	10,587円(11/1~30)	

1部30円

平和・いのち・くらし守って 安心して住みつつげられる まちづくりを



友の会の本領を發揮し つながりをさらに大事に

健康友の会 みみはら 会長 江戸 道子



新年明けましておめでとうございます。旧年中は、皆様には友の会活動にご協力いただき、ありがとうございました。今年も引き続きよろしくお願ひいたします。昨年はコロナ禍で社会のあり方が一変。「体調がおかしい」「手荒れがひどくて」「消毒をやめられない」「暑くて苦しくても、マスクを外せない」「病院に行くのも気が重い」―先日から電話訪問や会員さんじかに聞いた話です。我々高齢者にとって生活環境が変わるといことは、体調

にも大きな影響が出てきます。仕事が減った中小業者、客が遠のいた飲食店、「生活が立ち行かない」―家庭崩壊の危機です。いつまでこんなことが続くのか、9月、10月、少し下火になったと思っていると、11月に入り、第3波襲来。医療崩壊が叫ばれる中、医療に携わっている方々の大変な努力には頭が下がります。それでも政府の支援は届かず、苦境に陥る人々は後を絶ちません。政府は「感染拡大は防がなくてはいけない」の言葉だけでなく、感染拡大時の具休策を明確に出していくべきだと思います。今こそ友の会の本領を發揮し、コロナ感染防止に気をつけながらも、多くの会員さんとのつながりを大事にする活動を強めていきたいと思ひます。

2021年1月22日、核兵器の製造、保有、使用などを全面的に禁ずる核兵器禁止条約が発効します。鳳エリアでは、核兵器廃絶鳳キャン(OCAN)として、ヒバクシャ署名、原水禁世大会への代表派遣、被爆体験聞き取りの会、核兵器禁止条約学習会など、核兵器廃絶への様々な取組みを行ってきました。

2020年10月24日、ホンジュラスが条約に批准し、核兵器禁止条約の批准国が50カ国に到達、2021年1月には核兵器禁止条約が発効します。しかし被爆国である日本は、条約への不参加の立場です。条約では、発効から1年以内に締約国会議が開催されることになっており、会議には、非参加国もオブザーバーとして参加できることになっているので、日本政府も会議に参加することが可能で

す。OCANは、2020年春に原水禁大会(ニューヨーク大会)へ3人の代表派遣を決め、それに向けたカンパ活動や学習会に取り組んできました。残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響から大会自体が中止となりましたが、7月から「平和の波行動」としてフリージャーナリストの西谷文和さんをお迎えし、世界の紛争地帯の実態を実際の写真とともにお話しして

核兵器禁止条約発効

祝「核なき世界」への 一歩の年に

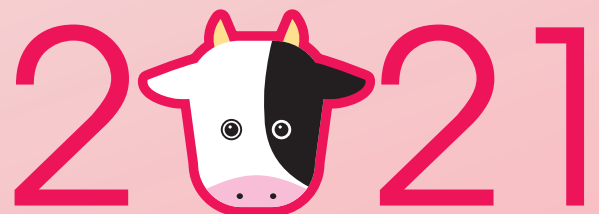


OCAN(核兵器廃絶鳳キャン)のメンバー

いただきました。8月は鳳クリニックで原爆パネル展、広島への原爆投下時間に合わせたピー

ススタンディング、原水禁広島大会のビデオ視聴会を行いました。12月には、野々村修平氏(ピースポートおおさか)をお招きし、核兵器禁止条約のこれからについて学習会を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で、残念ながら延期となりました。今後、オンラインなどを利用した学習会を検討中です。

鳳エリアでは新たに、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名活動を各職場でスタートさせています。条約への参加を求める声をさらに大きくするために、2021年も取り組みを行っていきます。



日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める
声をさらに大きく